

7回	健康課題への支援方法を導く理論の理解と活用③：動機づけ面接法について担当者がプレゼンテーションを行う。(中西)						
8回	健康課題への支援方法を導く理論の理解と活用④：ソーシャルサポートについて担当者がプレゼンテーションを行う。(中西)						
9回	急性期看護におけるエビデンス開発に関する論文を選択し精読する。(松井)						
10回	慢性看護におけるエビデンス開発に関する論文を選択し精読する。(中西)						
11回	看護の発展と進化①：専門看護師等の高度実践看護師をゲストスピーカーに招き、その活動の実際と課題について講義を受ける。(中西・松井)						
12回	看護の発展と進化②：専門看護師等の高度実践看護師をゲストスピーカーに招き、その活動の実際と課題について講義を受ける。(中西・松井)						
13回	看護の発展と進化③：専門看護師等の講義を受けて課題の解決と今後の発展の可能性について検討する。(中西・松井)						
14回	慢性・急性状況にある人、及び移行期にある人が活用できる制度や資源にどのようなものがあるかを知る。(中西)						
15回	看-看連携及び多職種連携の現状の課題と在り方について検討する。(中西)						
16回							
17回							
18回							
19回							
20回							
21回							
22回							
23回							
24回							
25回							
26回							
27回							
28回							
29回							
30回							
成績評価方法及び基準							
担当プレゼンテーションの内容(50%)、各回の討論の内容(50%)トータル60点以上を合格とする。							
教科書							
参考図書等	①曾根智史他訳：健康行動と健康教育 理論、研究、実践、医学書院 ②後藤恵他訳：動機づけ面接法 実践入門「あらゆる医療現場で応用するために」,星和書店 ③本庄恵子監修：セルフケア看護, ライフサポート社 ④岡美智代編集：行動変容をうながす看護, 医学書院 ⑤牧本清子監修：推奨すべき看護実践, 日本看護協会出版会						
授業時間外の学習について(授業準備のための指示)							
第5回～10回では、自分の担当するモデルあるいは理論についてプレゼンテーションができるように資料を作成し事前配布しておく。他者の担当回については、事前配布された資料に目を通し討論に参加できるように準備して臨む。							
関連科目							
前科目	M213 成人看護学特論Ⅰ						
後科目	M215 成人看護学特論Ⅲ	M216 成人看護学演習	M227 特別研究Ⅰ	M228 特別研究Ⅱ			
実務家教員							
看護師(医療機関)	中西 純子						
看護師(医療機関)	松井 美由紀						
備考	成人看護学特論Ⅰの履修を前提とする。授業は2回続きで行う。但し、授業内容の順序は変更の可能性はある。						